

# 松前町はええところいっぱいあるんやけん

愛媛県松前町 まさきーいいところ見つけ隊

たくさんいいところあるよ、本当は・・・

「松前町ってエミフル（四国有数の大型商業施設）以外に何があるん？」と聞かれて答えに詰まる町民が多いのではなからうか。

県都松山市に隣接し、利便性がよく、農水商工業もバランスよく発展した当町では、多くの住民が特に不満を感じることもなく、穏やかに暮らせている。こうした町の現状に問題を感じていない住民意識こそが本町の重要課題と感じるようになった。魅力ある地域資源がたくさんあるが、そのよさを認識していない状況のままでは町の活性化どころか、名実ともに「何にもない町」とすり込まれてしまいそうである。今こそ、県下一小さい本町に秘められている大きな

パワーを導き出していけたらとの思いに至ったのである。

事の始まりは・・・

平成27年、県と町が協働による地域づくりの推進を目的に「住民集会」が開催された。そこで本町の活性化には大型商業施設＋αが必要で、このαこそが観光開発（資源の掘り起こし）であるとの認識に至った。その後1年間、有志で町内の観光名所を探し、観光コースを試算し、住民目線で見つけ、住民みんなで共有できるような「まさきーいいところ見つけ隊」を立ち上げた。



まさきえ〜とこマップ 日本語版・英語版



## 「あるある松前町」への意識の変容を

まず、町民の意識変容を図ることを目的とした観光スポットのマップ制作である。手書きマップからA0サイズの日本語版・英語版「まさきえーとこマップ」へと進化させた。これは我々2年間の大きな活動成果と言える。



スタートの高忍日賣神社境内にて全員集合

## 住民目線で企画運営したイベントの数々

マップ制作と並行して、発掘した地域資源を基に、見る・聞く・話す・体験する・味わう等を、町民自身が体感・体得することで、町民意識が変容し、郷土を好きになるはずだとの狙いの下、これまでに次のようなイベントを開催してきた。(一昨年度の例)

### ①町歩きツアー

町内の大字地域の観光スポットに焦点を定め、ガイド付きで名所旧跡をめぐる活動

### ②スポーツサイクル車でのツアー

町内全体の名所を自転車でめぐる活動

### ③タクシーツアー

ジャンボタクシーを利用し、町内の名所や

地場産業の見学と体験をセットした活動

### ④ふるさとフェア

地域の産業祭で町内外からの来場者へ向けた事業PRと特産品でのおもてなし活動

昨年度はコロナ禍のため十分な活動ができなかったが、その中でも実施できたイベントの「子ども夢会議」について述べたい。

## イチ押し活動：「子ども夢会議」

未来の本町を担う町内の小学生を対象に、体験・話し合い活動を通して松前町の魅力を体感し、郷土愛と町づくりへの意識を高める



初めてのはだか麦手作り味噌に挑戦！

活動として、第2回子ども夢会議「子ども夢会議 in 北伊予」を開催し小学生15名が参加した。

内容は、まず歴史的に古い高忍日賣神社で宮司さんから説明を聞き、その後近くの古民家で松前町特産のはだか麦を使った味噌づくりに体験、さらにプロのシェフ指導ではだか麦を使ったパエリアを作り昼食を楽しんだ。

古民家の見学や、地域の多様な歴史や文化、先人の足跡に触れることで、地元松前町を子ども自身が体得し、視野を広げたいと思う。

午後は古民家の納屋の広間で松前町の良い



はだか麦 100%のパエリアを・・・いただきます！

ところや改善したらいいところに視点を定め、子ども目線で実感している今の松前町、より良い未来の松前町の姿について話し合い活動を行った。「自分が住んでいる松前町」への意識が高まり、子どもならではの未来の松前町はこうあってほしいとの生の声が思いとなって発せられた話し合い活動であった。

今回はコロナ禍であり3密に留意しながらの実施であったため、参加対象者の制限や感染予防の対応など、事前・事中に配慮事項が多く、計画段階で予定していた中学生や保護

者、地域住民の参加が思うようにできなかったことは残念であったが、参加児童の生き生きと体験活動する姿や会議での意見交換の内容からも大きな成果がうかがえた。

本町の多様な地域資源を体感することにより理解が深まり、自分が住んでいる町の素晴らしさを認識したと思われる、今後の成長に期待している。

### 今後は・・・

【松前にはええとこいっぱいあるんやけん】

【松前にはええもんいっぱいあるんやけん】

【松前にはええ人いっぱいおるんやけん】

この言葉は、隊員の私たちだけではなく、イベント等に関わった多くの町民や子どもたちからも聞くことができ、地域にあるたくさんの方々の魅力に意識が向けられるようになったと思われる。

これは、対象や手段をイベントごとに工夫したからであると思う。子どもを対象に、サイクリング好きを対象に、町内に住む外国人にも町のいいところ・・・と、住民目線を何よりも大切にしてきた結果、大きな成果を得ることができた。

また、活動する中で団体の知名度も向上し、観光ボランティア、農業者や企業等の様々な機関から協力を得られたことで、活動の幅も



「松前町の未来は任せてね～！」子ども夢会議での話し合い

大きく広げることができた。

我ら「まさきーいいとこ見つけ隊」の活動を通じてまちづくりは人づくりであることを実感しており、さらに活動を充実させ、町内外への情報発信の強化に努める必要があると強く感じている。

今後は、まちづくりとなる活性化の大きなウェーブを起こすために、①町行政とも連携を図る道筋の模索、②より主体性を発揮できる取り組みなどのキッズ部門の組織化、③関係機関との連携を図りながら組織力の強化等に努めて充実させていきたい。

(まさきーいいとこ見つけ隊長 矢田弘)